

世界史の

偏差値 50 を 60  
にするための

ロードマップ

## 著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用用に関しましては、以下の点にご注意ください。

## 使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

## 第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

## 第2条 禁止事項

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講

演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

### 第3条 損害賠償

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金金が発生する場合がございますのでご注意ください。

### 第4条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用用許諾諾契約書を解除することができるものとします。

### 第5条 責任の範囲

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても 一切の責任を負いません。

はじめに

一章 このレポートで手に入るもの

二章 世界史の重要すぎる考え方

三章 あなたの偏差値を 50 から 60 にするためのロードマップ

最後に

## はじめに

こんにちは。ケイトです。

この度、「世界史の偏差値を 50 から 60 するためのロードマップ」をダウンロードして頂き、誠にありがとうございます。

本レポートでは、世界史の偏差値を 50 から 60 するための道筋、つまり、どういうことをすれば、世界史の偏差値が 60 に届くのか、ということを紹介していきます。

今やっている勉強法の問題点がわかり、

なぜこの世界史の勉強法が偏差値アップにつながっていくのかも分かっていきます。

この世には、「勉強法」を知らず苦しむ人がたくさんいます。私もその一人でした。

どんなに勉強しても、学んだことが右から左。



shutterstock.com • 272306936

世界史の流れをつかめとかっていうけれど、世界史の流れなんかどうやって掴めば良いか分からない。

私はずっと思い悩んでいました。

私は高1の頃から京大志望で、部活に打ち込みつつも、勉学に励んでいました。

勉強しない日はなく、遊んでいる同級生を横目に見ながら、自分だけ勉強していました。

色々なノウハウを試し、苦しむように勉強しました。頑張れば成績は上がる。そう信じて勉強しました。

しかし、、、、、、

私の成績はどれだけ勉強しても一向に上がりませんでした。現実は残酷でした。

授業中にパズドラをやっているような男子の成績はぐんぐん上がっていきました。

もやもやと悩みを抱えたまま、私は3年生になり、部活を引退しました。

週6で練習のあった部活がなくなれば、勉強時間も増えて成績も上がるだろう。

私は「偏差値が上がり、京大に合格する」という未来を想像して、わくわくしました。

勉強時間が増えても、成績はあがりませんでした。いよいよ私は自信がなくなりました。勉強するたびにもやもやしました。

「私には無理かも」

「京大なんか夢のまた夢」

「大学落ちて、学歴フィルターかけられて、下請け会社で定年まで働くような惨めな人生送っていくのかな...」

暗い未来ばかり想像し、どんどんやる気を無くしていきました。その状態のまま受験の天王山である夏休みに突入し、解決することも無く終わってしまいました。

成績があがらない恐怖と惨めな未来の不安しか私にはありませんでした。



shutterstock.com • 1432128161

そんな私に救世主が現れます。9月のある土曜日のことでした。

ネットサーフィンをしているときに、私の受験生活を変える世界史の

「勉強法」と出会うのです

その勉強法は、

「世界史は、「ストーリー」を理解することが肝。」

「世界史の「ストーリー」は、数学で言う公式のようなもの」

ということを教えてくれたのです。

そこで、今までにやっていた勉強を振り返ってみました。

# そら成績上がらんわ

今までの勉強は勉強もどきだったのです。今までの用語や年号をやみくもに覚えたり、何も考えずに教科書を音読するような勉強法はクソだと分かりました。

それから、徹底的に勉強法の見直しを図りました。

そして、「ストーリー」の理解を軸とした勉強法に切り替えたのです。

するとなんてことでしょう。

毎日の勉強が捗るようになり、一問一答の問題集はスラスラ解けるようになっていきました。

おまけに自信もついていきます。



それから1ヶ月。

すると秋の模試で世界史は **マーク9割** 達成！

**記述偏差値 65!**



# ひやっほう

8割前後をうろちよろしていたマークと、前回ボロボロだった記述のこの成果は私にとっては快挙でした。爆発的に偏差値が上がったのです。

試験中に問題がすらすら解けた感覚は今でも忘れません。試験中ニヤニヤしていました。一番出来の悪かった世界史は、いつのまにか得意科目になっていました。



世界史の勉強が最も楽しくなっていたんです。

私は第一志望に合格することはできませんでしたが、立命館大学、同志社大学、関西大学、近畿大学など受けた私大には全部合格しました。

しかし、やはり心残りがあります。

第一志望の京都大学には落ち、

現役志望だったので、滑り止めに受けた立命館大学国際関係学部に進学しました。

非常に悔しかったです。

なんとかリベンジしたい。

再チャレンジしたいと思いました。

そんな時、京都大学には、法学部に三年生から入ることができる編入制度があることを、友人が教えてくれました。試験は大学 2 年生の秋にあります。

そこで私は大学 1 年生の春から、「編入試験に合格すること」を目標とし、

これまでに身に付けた勉強法を応用しながら、京大に入るために努力を続けました。

何回か心が折れたし、しんどかったですが、2020 秋、京大の3年次編入試験を無事に終えました。

そして 12 月になって結果がでました。

それは「**合格**」の 2 文字でした。

令和2年12月18日

受験番号 8  
竹内 麻菜 殿

京都大学法学部長  
山本 敬



## 合格通知

あなたは、令和3年度京都大学法学部第3年次編入学試験に合格しましたので、通知します。

入学料納付及び入学手続き等に関する詳細は、令和3年3月上旬に通知します。

なお、3月10日を過ぎても通知が到着しない場合は、法学部教務掛へ問い合わせして下さい。

少し話が逸れてしまいましたが、

ここまで分かるとおり、

私でも偏差値を1ヶ月で10上げることができたのは、

「勉強法」のおかげです。

編入試験に合格したのも、「勉強法」のおかげです。

「「勉強法」がすべて」と言っても過言ではないかもしれません。

「勉強法」のパワーは私だけ留まりません。

過去に指導させて頂いた、早稲田大学志望の受験生は

何から手をつければいいのか分からない状態から、

「勉強法」を知ったことで迷いなく勉強できるようになり、

共通テストの模試で 8 割ほど取れるようになりました。

偏差値は54→62と飛躍しました。

「勉強法」で大きく変わるのです。

世界史の偏差値が上がると、世界史は得意科目となり、

辛い受験勉強も楽しくなります。

ひとつだけ心残りがあるとすれば

「**もっとはやく知っていれば...**」

と。

効率のいい「**やり方**」を知らなければ、圧倒的な時間を無駄にするので  
す。

でも裏を返せば、私みたいな要領の悪い人間でも、才能の無い人間でも、効率のいい「やり方」さえ知っていれば成績は上がるのです。

私のように時間を無駄にして欲しくないし、苦勞するのは私だけで十分です。

つまり、

**一人で頑張っても限界がある**

ってこと。

時には、人の手を借りた方が大きな成果が得られます。



shutterstock.com • 1132114712

このレポートにたどり着いてくれたあなたには、きつとなにかの縁です。

だから、私の世界史の偏差値を 10 上げた知識を使って、偏差値 50 から 60 に跳ね上げるためのロードマップを公開しようと思います。

## 第一章 このレポートで手に入るもの

このレポートに書いてあることを実践すると、こんなことが起こります。

- ・世界史の偏差値を偏差値 **50 から 60** にするための道筋が分かる
- ・**上位国公立大学、MARCH、関関同立**を目指すことに自身を持てる
- ・「**何が出来ないか分からない**」状態から抜け出せる
- ・**世界史の勉強方法で悩まなくなる**



shutterstock.com • 1075401785

このレポートは、世界史の偏差値 50 前後で、「何が出来ないか分からない」状態の人達が、

「世界史が得意になる、または共通テストで 8 割以上をとる」、

「志望校(上位国公立、関関同立、MARCHレベル)に合格する」

ためにどうすればいいか、という道筋を示していきます。

成績が上がらない 効率が悪い 結果に結びつかない。そんな悩みとは今日でおさらばしましょう。

## 二章 世界史の勉強で重要すぎる考え方

ロードマップを紹介する前に、すごく重要なお話をしなければなりません。

正直これを知らなければ、ロードマップを理解できないし、

**ナビゲーター世界史**を 100 回読んだって、現実が変わることはありません。

努力するのはとてもいいことです。しかし、方向性を間違えるとすべてが**徒労に終わります**。

授業中にゲームやってるのに、成績良いヤツに勝ちたくないですか？

努力のすべてを、結果に結びつけたくないですか？

**無駄な努力なく、成績を伸ばせたら良いですね。**

では早速考え方を紹介していきます。

そんな重要な考え方とは、「木の幹勉強法」「枝葉勉強法」という考え方  
です。



# は？

って感じですよ。ご安心下さい。丁寧に説明します。

あなたの成績があがらないのは、この枝葉勉強法をやっているからなんです。

ほとんどの受験生は、枝葉勉強法に逃げているのが現実です。

では、具体的にどんな勉強か、というと、

「やみくもに暗記する」

「とりあえず年号を覚える」

「焦ってヨコの歴史を学び始める」

「とりあえず教科書を音読する」

当てはまるものはないですか？

ドキッとした方、要注意です。

一方、木の幹勉強法は、根幹を掴むような勉強法です。こちらは、世界史が得意な人の勉強法であり、さらに言えば勉強が出来る人の思考法です。

例えば、数学で言う公式であり、化学で言う解法ですね。

では、世界史で言う木の幹はなんなの？というと

ストーリー

です。

ストーリーというのは、こういう出来事が、こういう原因で起きて、その後こうなった。それで、この出来事につながっていった、という話の流れですよ。

え？なんでストーリーなの？と思っていることでしょう。

では、**桃太郎**を思い出してみてください。

川から桃がどんぶらこ～というところから、仲間をあつめて鬼退治まで、大抵の日本人は語れると思います。

では、この桃太郎というお話を覚えるとき、

話を知らずに、「桃太郎」「きびだんご」「鬼」「キジ」のように用語だけ覚え  
えましたか？

そんなことはないですよ。

ストーリーがベースにあって、これらの用語を覚えていくはずですよ。

世界史も、人間の行動の記録であり、ストーリーがあります。

教科書には無機質に書かれているので「ストーリー」を感じにくいですが、ちゃんと物事の順序があり、因果関係があって、**お話**になっているのです。

このお話を覚えずして、用語だけ覚えても、解けるのは一問一答のみであり、論述、ヨコの歴史、出来事の順序の問題、すべて答えられず、汎用性がないのです。

逆に、世界史のストーリーを語れる力がつくと、

**出来事の並び替え問題で悩まなくなる**

**論述問題が解けるようになる**

## 年号をやみくもに覚えなくて良くなる

などなど、良いことがたくさんあります。

また、「ストーリー」というのは、記憶に残りやすく、用語を丸暗記するよりも、数倍楽なんです。

ある研究によると、理解している記憶と理解していない記憶では 約 20 倍の覚えやすさの違いが出てくるというデータがあります

理解している方が「**20 倍覚えやすい**」ってことです。

これヤバいっすよね。

その証拠に、桃太郎は幼児からお年寄りまで誰でも語れる印象がありますよね。

また、結構昔の事でも、印象深かったことは、細かく話せるのではないのでしょうか？

このように、「ストーリー」の記憶の残り方はすごいのです。

逆に言えば、

ストーリーを無視して、用語を丸暗記したり、なんの意識もなく教科書を音読するような

枝葉勉強法だと、ほとんどの問題に太刀打ちできないし、時間がかかりまくるのに全然覚えられず、**ちょびっとだけしか偏差値はあがりません。**

一方、木の幹勉強法は、最初は時間がかかっても、勉強すればするほど、ストーリーがつかめてきます。

ストーリーがつかめてくると、**用語も覚えやすくなり、またストーリーを使えば、論述、ヨコの歴史の問題など、様々な形態の問題に対応できるようになり、ぐんぐんと成績が上がっていきます。**

まとめると、私の偏差値が 55 から 65 に上がったのは、この木の幹勉強法、分かりやすく言えば、桃太郎的勉強法を使ったからなのです。

では、どのようにこの幹を育てていくか

必要なことは2つだけです。

・ストーリーをつか  
む

・覚える

これだけです。覚えるという作業は、よく暗記ともいわれますが、木を育てる上での「水」のような存在です。



例えば、ストーリーをインプットして、そのまま話の筋を忘れてしまうと  
言う人は、暗記をしていない状態です。

つまり、苗だけ植えて、水をあげずに枯れさせてしまっている状態なん  
ですよ。

このように多くの方は、**どちらかだけやるか**、枝葉勉強法のところで紹  
介したような、100 やって 1 の成果しかでないような勉強をしていま  
す。

・ストーリーをつかむ

・覚える

この**木の幹勉強法**を頭に入れておきましょう。

### 3章 あなたの偏差値を50から60にするためのロードマップ

ここからは、あなたの偏差値を50から60にするまでのロードマップを示していきます。

ワークもありますので、紙に書いたり、スマホにメモしたりして、読み進めていって下さい！では、いきます。

#### STEP1 現状を知る

まずは、あなたの世界史の成績を把握する必要があります。

過去のテストや模試、過去問を解いた結果などを見直してみましよう。

なぜ、これをしなければならないか、というと、

まあまあ勉強しているけど、いざとなると用語思い出せない人と、

用語はかなり覚えれているけど、論述や並び替え、同年代史で詰まる

人では、

「**ストーリーを掴む**」と「**暗記**」、どちらに力点を置くかが違ってくるから

です。

もちろん、どちらもやらなければなりません。足りない方から優先的にやった方が効率がいいのです。

だから、自分の今の世界史の状態をチェックします。

また、自分の苦手な分野や、「カタカナは間違えて覚えがち」など、実力を把握しておく、後で役立ちます。

STEP2 ゴールを知る

偏差値 60 にするまでのロードマップですが、偏差値 60 というのは、上位国公立や、MARCH、関関同立が狙えるレベルで、共通テストは 8割を越えるレベルです。

まずは、そのレベルを目指していきましょう。

### STEP3 枝葉勉強法で勉強するのを辞める

あなたが今まで枝葉勉強法をしていたのならば、改める必要があります。

ここでワークです。これまでにやっていた勉強法を書き出してみてください。

そうして、先ほど解説した「木の幹勉強法」からどれくらいズれているか、自己分析してみてください。

#### STEP4 木の幹勉強法でひたすら勉強する

「木の幹勉強法」覚えていますか？

そうです。やるべきことは、

- ・ストーリーを掴む
- ・覚える

だけです。

これをひたすらに続けていきます。

これだけでいいの？

そう思うかも知れません。でも、世の中の真理って、驚くくらいシンプルなんですよ。

世の中が複雑なのは、人間が勝手に複雑に見ているからなんです。

あなたの安心材料として、実際に成績が上がった事例を紹介します。

高3のMさんは私が数ヶ月ほど指導させていただいた方ですが、この2つだけをやリ、**54→62**に飛躍しました。

彼女は、世界史の勉強に何から手をつけたらいいか、参考書は何を使ったら良いのか？分からず、また、早稲田の世界史は難関なので、現時点では絶望的、、、というような状況で、しかも高3の夏でしたので、かなり焦っておられました。

質問なのですが、最近河合塾の模試が返ってきたのですが、世界史の偏差値が54でした

そんな彼女に、3ヶ月ほど、上に紹介したような、「木の幹勉強法」を中心に、

どの参考書を使えばいいか、どのように使えばいいのか、ヨコの歴史はどうしたらいいのか、ヨーロッパを勉強したのに、アジアを勉強したら忘れてしまう、、、

などなどすべての悩み、相談、質問にアドバイスさせて頂きました。

すると、驚くべき結果が出ます。

こんにちは！

最近河合塾の共通テスト模試を受けたのですが、世界史が85点でした！

なんと共通テスト模試で **84点**をとれるようになったのです。この時の偏差値が62でした。

共通テスト形式の問題で 8 割取れば、十分得意教科と言えますし、早稲田も、視野に入れることができます

彼女は自信を持って早稲田を狙うそうです。

おまけですが、自分の弟にも教えてみたところ、定期テストで **93 点** という好成績でした。



私自身もこの勉強法で **65** まで上がり、センター試験は **91** 点をマークしました。

ワクワクしてきました？

では、試しにやってみましょう。

まず自己分析の結果から「ストーリーの掴みが甘いのかも～」と思った方から。

ストーリーをつかむには、物事の因果関係、順序を把握していく必要があります。

桃太郎でいえば、

おばあさんが川に行った

川から桃から流れてきた

おばあさん桃を拾った

桃から男の子が生まれた

という順序があるわけです。

また、おばあさんが川から桃を拾ったのは、彼女が川に洗濯に行ったからです。

世界史に話を戻しますが、このようなストーリーを掴むには、参考書を使いながら、因果関係をひとつずつ確認していく必要があります。

できれば、固い文章で書かれた教科書ではなく、分かりやすく書かれた参考書を買って、そこに線を引いたり、書き込みをしたりして読んで下さい。

しかし、読んでもすぐに話を忘れてしまう、という問題があります。これは誰でもそうなので、ご安心下さい。

この問題を解決するには、良い方法があります。

それは、参考書を読みながら、自分でクイズをつくっていくことです。

シンプルでいいし、難しくする必要もありません。

例えば、桃太郎で問題をつくるのであれば、

- ・おばあさんが川に行ったのは何しに行ったから？
- ・桃から何が生まれた？
- ・男の子はなんと名付けられた？
- ・なぜ鬼退治に行った？
- ・彼はどのように仲間を手に入れた？

こんな感じです。最初は一問一答感覚で、簡単で良いので作ってみて下さい。

慣れてきたら**なぜ？どのように？**のような、因果関係を問う問題を入れてみましょう。

問題を作れたら、この問題を解いてみて下さい。あとはこの工程を繰り返して行きましょう。

このクイズづくりの良いところは、ストーリーを忘れるのを防ぐだけでなく、「**暗記**」もできる点です。

参考書の読み方を変えるだけで、

## ・ストーリーを掴む

## ・暗記する

ができるようになるわけです

これを繰り返していき、タテの歴史が大体できるようになり、用語がサラッと出てくるようになると、1～3ヶ月で恐らく共通テストレベルで8割前後がとれるようになってきます。

8割前後とれると、偏差値は60を超えてきます。まずは1ヶ月ほど続けてみましょう。

勉強のやる気があるけれど、どこから手をつければいいのか分からない  
あなたは、まずはテスト範囲や、ここ1ヶ月で学校の授業でやった内容  
の世界史を読んで、クイズづくりをして勉強してみてください。

範囲を決めたら、今紹介した勉強法でその範囲を3周~7周ほどし  
て、定着させていきます。

テストは楽勝になりますし、ひとつの範囲ができるようになると、快感  
になってもうひとつ、もうひとつ、、、とスナック菓子やフライドポテト  
のように辞められなくなります。良い意味で(笑)

また、これは完璧主義な人や、欲張りさんに気をつけて欲しいのです  
が、

始めからナビゲーター世界史を 1 巻とかやろうとすると、マジで挫折  
します。

なので、最初は、教科書 20 ページ分とか、昨日世界史の授業でやっ  
た内容とかでいいです。

ランニングで最初から 10 キロ走れる人がおらず、始めは 1 キロとか  
2 キロとかから始めるのと同じで、勉強も少しずつ始めて行きます。

この方が勉強しやすいし、挫折しないし、成長しやすいので、良いこと  
づくめです。

細かくステップを踏んでいきましょう。

さらに、ナビゲーター世界史などの参考書で勉強することすらおっくうな人は、世界史の授業を受けながら、クイズを作り、そのクイズを、休み時間や寝る前、トイレに入っている時にでもやってみましょう。

復習ができて知識が頭に入るところか、ストーリーもススツと頭に入るようになってきます。

慣れてきたら、範囲を広げてみたり、自分で参考書を買ってみたりしましょう。世界史漫画で、さらっと楽しく押さえていくのもアリです。まずは一歩踏み出しましょう。

次に、「流れはまあ掴めているけれど、暗記が足りないのかも、、、」と  
思っている方。

そういうあなたは、ストーリーの理解はできているので、暗記の仕方を  
工夫していきます。

ここで、これをすれば、どれだけ凡人でも、私のような要領の悪い人間  
でも、完璧に暗記できるというワザがあるので紹介しましょう。

それが、

## 何度もすり込む

です。

え～

とか

そんなことかよ

とか

もっと楽な方法ないの？

と思ったかもしれません。

そう思ったあなた

**急がば回れ☆**

面倒で遠回りに見えても、これがとても近道なんです。

自分の家の住所、郵便番号、ちゃんと理解できた公式、学校から家までの帰り道。

これらを易々思い出せるのは、こういうものであると説明できる状態のものが、死ぬほどすり込まれたからです。

死ぬほどすり込まれると情報は長期記憶というフォルダーに入ります。

このフォルダーは定期的にメンテナンスしていれば永久的に消去されることがない最強フォルダーです。

とは言え、記憶力を **12 倍にする秘訣** というのはあります。(笑)

それはたったの 4 つです。

- 1 ストーリーがあること
- 2 何度も出会うこと

3 理解していること

4 トリガーがあること

です。

ストーリーと理解は、教科書や参考書を読む段階で終わっているのですが、この暗記のパートでは、2の「何度も出会う」と4の「トリガーがあること」が重要になってきますね

というかそもそも暗記とは何かってことなんですが、

暗記とは、**諳んじること**です。つまり、**何も見ずに外に出す**までが暗記です。

これができるようになりたいあなたがやるべきことは**アウト  
プット**です。これは暗記の肝ともいえます。

人間は記憶を何度も取り出しているうちに、**だんだん覚えてきて最終的にスラスラ思い出せる**ようになるのですが、逆に使わない知識は忘れていきます。

どうしても**暗記**というと**インプット**だけを思い浮かべがちですが、用語を頭の中に放り込んでも、取り出せなきゃ意味がありません。

また、アウトプットの良いところは、**アウトプットするとインプットもできてしまう**点です。

問題を解いたときに、知識を取り出せるだけでなく、その知識をまた頭に戻すことができます。関連知識と一緒にしまい込むのもアリですよね。

前置きが長くなってしまいましたが、具体的な暗記の方法を紹介していきます。

使う問題集は何でもいいです。繰り返し易いものをつかっていきます。世界史の勉強し始めたばかり人は薄めのものを使うといいでしょう。

問題を見て、分からなくても思い出す努力をして、考えた後で答えを見ます。答えを言えた問題は、○やチェックをつけておきます。

この作業を繰り返し、問題集を全体で周回していきます。

授業でやってない範囲や、全体を何周もするのが疲れる人は、適当なページで区切りましょう

〇が3つ以上つき、問題を読んだらパッと思い出せる用語は合格です。次からは、その用語は少し復習する程度にしておいて、まだ合格ではない用語を重点的にやっていきます

3周だけやって、問題集を辞めてしまう人がいますが、それはかなりもったいないです。

吸収できていない知識がヤマほどあるからです

たとえストーリーを押さえられていても、細かい用語が出てこなければ、ストーリーを押さえた意味がなくなってしまいます。

なので、1冊の問題集は、もう表紙がとれるまで使いましょう。(笑)

まあ表紙はとれなくてもいいですが、使い込んでいくのが、成績アップへの近道です。

また、この問題集の周回でもっとも大事なものは、問題を見てわからなくても、**思い出す努力をすること**です。分からなくて苦しむと言う行為が、記憶の定着速度を圧倒的に速くします。

さらに、このタイミングでアウトプットすると効率がいいよっていうのがあります。

それは、**インプットした日、その一日後、その一週間後、その二週間後、その一ヶ月後、その二ヶ月後**というタイミングです。

間違えた問題、思い出せなかった問題は、このタイミングで復習しておくといいですね。

実は、これは少し忘れたくらいのタイミングなのです。

脳は苦しめば苦しむほど覚える、という性質をもっているのです、忘れたくらいに復習すると覚えやすいというデータがあります。

逆にスパンが短すぎると、「これはまだ覚えているからいいや」と脳が判断してしまい、復習の効果が半減してしまうのです。

問題集全体で周回しましょうと言ったのは、スパンをできるだけ中長期にするためだったんですね。

どうしても覚えられない場合

**まあしかしどうしても覚えづらい用語ってありますよね**

例えば、文化史にでてくる作品と作者名とか、一見本筋とは離れている用語。そういう用語って死ぬほど頭に入っていない、、、

じゃあなぜか。

それは、

## 他の知識との関連がないから

なんです。

もちろん、アウトプットをしまくって丸覚えするのもアリです。それで上手くいくこともあります。

しかし、そういう人は少し捻った問題でつまづいてしまいます。

「関連が重要なのは分かってるけど、どうしたらいいか分かんない！」  
という主張が聞こえてきますが、これから説明していくので、焦らず読んで下さい。

知識を関連させるってどういうことかということ、例えば、、

昭明太子 文選

というのを覚えようとしたとします。

たしかに、これ自体はすぐに覚えられます。

でも、この人はいつの人ですか？って聞かれたらどうですか？

分からないんですよ。なので、これを覚えるときはこういう理解をします。

「昭明太子は魏晋南北朝時代の人で、学問に優れた。古代の名文集である「文選」をつくり、それは日本の平安文学に影響した。「万葉集」の中身も、文選に載っている文章を書いた人物のものが使われている。」

色々な情報が出てきました。一見すると余計な情報が多くて遠回りかも知れません。

しかし、文選がどういう作品なのかが分かれば覚えやすくなり、平安時代の文学に伝わったと言うことは、その少し前くらいの**6世紀**であることが覚えられます。

この時代で学問に優れる人は家柄が良いですね。**貴族**です。

関連して貴族社会だったこの時代のことを勉強すると、**九品中正**とか、土地制度だったら**屯田制**だったり、連想ゲームのように広がっていくわけです。



これは**ヒグビー効果**とよばれるもので、関連付けられると人の脳は覚えやすくなるという心理の一つです。

強く記憶に残りやすいものというのは、7つあり、

1. 意味があるもの
2. バラバラな知識を系統立てたもの

3. 新しく覚える事と既に覚えている事を組み合わせたもの
4. 視覚的なイメージ
5. 注意の向いた対象
6. 好きなこと
- 7 復習した・評価されたこと

の七つです。

さきほど説明した昭明太子の例でも、しっかり調べて理解し、貴族社会を創造することで、1. 意味があるもの 2. バラバラな知識を系統立てたもの 3. 新しく覚える事と既に覚えている事を組み合わせたもの 4. 視覚的なイメージ の4つはクリアできています。

この暗記テクニックは世界史用語だけでなく、英単語とかでも一緒なんです。

例えば、**pier** という単語が覚えられなかったとします。埠頭という意味です。

まあこれは実話で、本当に覚えられなかったのですが、

覚えられなかったのは、埠頭という日本語の意味自体分かっていなかったからでした。

同じ単語帳のなかで **wharf** という単語が出てきましたが、その意味も埠頭でした。

またでてきた、と思い、ようやく調べました。

「港湾内で、船舶を横付けして旅客の乗降や貨物の上げ下ろしをするためのところ」という意味でした。



「なるほど～」と思い、私は埠頭と聞くと、情景が頭に浮かぶようになり、単語を覚えるのが楽になりました。

時間がたって記憶が消えても、埠頭のイメージがあることで、すぐに覚え直せました。

このように、**イメージや関連というのは、暗記をするためにすごく重要なのです。**

確かに、いちいち調べたりして、情報を加えるのは面倒です。しかし、その一手間をサボったせいで、多くの時間が失われます。

こういう言葉があります。

**「人は秒単位で時間を節約し、  
年単位で時間を無駄にする」**

一手間を加えない人はいくらか時間を節約するかもしれませんが。しかし、暗記が上手くいかずに合格できず、1年という時間を棒にふるでしょう。

分からない、覚えられないと思ったら、理解してるか？関連付けているか？と問いかけてみて下さい。

#### STEP5 高みを目指して

先ほど紹介した M さんのように、偏差値 60 を突破したら、この木の幹勉強法に、枝葉を付け加えていきます。

つまり、足りないところを補うようにストーリーの勉強をしながら、**年号や、同年代史、論述問題の練習**など、その人にとって必要なものを付け加えていくのです。

実は、いわゆるヨコの歴史や論述問題って、タテの歴史が基礎なんです。

タテの歴史が大体分かってきたという目安は、センターもしくは共通テストレベルで 8 割くらいなんですけど、

これって分かっているようで、分かっていない人がほとんどで、みんな共通テストレベルで 8 割を超えていないのに、ヨコの歴史や論述に、手をつけてしまうんです。

桃太郎の話の流れが分かっていないのに、金太郎や浦島太郎のヨコのつながりが分かるわけがないし、

話の流れが分かっていない用語がパツと出てこないのに、論述なんて出来ないですね。

だからこれらに手をつけるのは、タテの歴史がある程度完璧になってからで良いんです。

これ聞いてちょっと安心した人もいるかもしれませんね。

共テレベルで 8 割くらい出来た人は、ヨコの歴史や論述やら勉強法を積み重ねていけば、あなたの成績はもっともっと上がって行きます。

高みを目指すのもありだし、他の教科に時間を使うのもアリです

ここまでの基本的な、「偏差値を 50 から 60 にするためのロードマップ」です。

世界史の勉強は意外とシンプルってことが分かったと思います。ぜひ、試してみてください。

最後に

怪しいブログの、ケイトという怪しいヤツから受け取った、怪しいレポート。

詐欺じゃねえかと思ったかも知れません。

でも、本質を押さえた**まとも**なものだったでしょ(笑)

あなたは小手先のテクニックではなく、考え方をすることで、他の受験生よりも、**一歩も二歩も先に行けます。**

また、このメルマガに登録した人には、最短距離で成績アップをしてもらいます。合格まで、歩くのではなく、電車に乗るでもなく、新幹線に乗ってもらいます。

新幹線では「時間」と「体力」を節約できます。

実際移動するときもそうですよね。

愛知から京都まで歩いてくる人はいません。新幹線に乗れば、体力もほとんど使わなければ、バスや電車みたいに腰が痛くなることはありません。しかも、40分ぐらいでつきます。

あなたには、「**最短ルート**」を歩んでもらいます。

最後の最後に！

最後まで読んでくれたあなたのために、特典をご用意しています。

このレポートで学んだことを、以下のアンケートフォームにアウトプットしていただくと、

特典「メルマガ読者限定プレミアム記事：**早稲田受験生、偏差値 54→62**  
**の達成の道のり**」

をプレゼント致します。

アンケートに答える！ ↓

<https://forms.gle/3iZehXyP751cnLtP6>

志望校も定まらない、自分の偏差値もよく知らない状態から 3 ヶ月間指導させて頂いた方でしたが、早稲田に照準をあて、世界史の成績をぐんぐん伸ばしていきました。

最終的に偏差値 54→62 を達成されました。

彼女との LINE でのやりとりを **プレミアム記事** としてお見せします。

このレポートを手に入れていない人は見るできない記事となっています。

プレミアム記事において、実際に偏差値 60 以上まで偏差値を上げた方の勉強の道のりを知れば、

・あなたにも偏差値を上げられる可能性十分すぎるくらいにあることを知り、絶望しなくなりますし

・どれくらい勉強していけば、数ヶ月のペースで偏差値を 50→60 にできるのかを大体知ることができて、焦らなくなります

この特典を手に入れたい方は、以下のアンケートで、このレポートのアウトプットをしてみてください

アンケートに答える！ ↓

<https://forms.gle/3iZehXyP751cnLtP6>

明日からは、世界史の勉強に関するメルマガを配信していきます。成績にアップには欠かせないので毎日必ず読んで下さいね。

それでは最後まで読んでいただきありがとうございました！